

令和7年度 第1回 学校評議員会

日 時：令和7年7月14日（月） 14時45分～16時10分

場 所：本校多目的教室

出席者：学校評議員7名 学校職員10名

1. 開会

2. 学校評議員委嘱

3. 学校長挨拶

- ・SSH平成15年度の指定から継続指定。昨年度、先導的改革型Ⅱ期の指定を受ける。
全国でも3校のみ。中学・高校での探究活動が評価されている。
昨年、信州大学工学部の会場をお借りして、探究活動の発表会を県外高校も参加して行い、好評を得た。
7月10日には、高校3年生が2年時の課題研究を英訳し英語発表会を行い、有意義な会となった。
外部の力を借りながら新たなチャレンジしている。
- ・鳩祭実施、来場者4000名超、行事の大切さを感じる機会になった。
附属中生と高校生が合同での班活動を行っており、中高生がそれぞれの役割をはたしながら文化祭の中で活躍していた。
- ・7月29日中学生体験入学を行う予定。参加予定生徒は1割減、保護者は2割減（昨年比）。
- ・高校教員が中学校を回って本校の様子をお話させていただく機会をつくっている。
- ・高校野球ベスト16。ハンド女子、将棋、ギタマン、弦楽が全国大会へ。
- ・中学男女テニス、水泳が北信越大会へ。
- ・令和8年度でSSHの指定が終わる。令和9年度以降に向けて新たな活動を検討していく。

4. 学校からの説明

（1）附属中学校の主な取り組み

- ・中高の接続を意識した双方教員の連携及び乗り入れ授業を行っている。
- ・SSHの取り組みを中学校でも前倒し実施している。（SSHフォーラムへの参加、本校独自教科「科学リテラシー」、英語ディベート等）
- ・学力推移調査を行い、学習習慣形成に向けた支援を行っている。
- ・多様な学びを取り入れた学年宿泊体験研修を行っている。
- ・中学生の携帯所持について生徒、保護者と振り返りながら進めている。
- ・学力向上に向けて、「振り返りの蓄積」、「フォーサイト手帳」、「学びの軌跡」を重点に学び続ける生徒の育成を図っている。
- ・年間5回のオンライン授業では、オンラインでしかできないコンテンツを準備し学習を行っている。
- ・HPで日々の生徒の様子を発信している。
- ・今後、自分の力で学び続けることができるようになるための手立ての構築、自己管理能力の育成、休みがちな生徒への個別支援に力を入れていく。
- ・中高合同班を含め活発な班活動が行われている。班活動加入率87.9%。
- ・公開授業、説明会への参加の様子から高い関心を持ってもらっていることがうかがえる。受検者数は安定している。

(2) キャリア教育について

- ・令和6年度高校卒業生は、ほぼすべての生徒が共通テストへ出願した。共通テスト出願6教科8科目受験も9割超。
- ・幅広い学力定着の観点から科目を絞らないように指導をしている。
- ・国公立大学現役169名合格。県内トップクラスの非常に高い数字となった。公立が若干増加。
- ・国公立前期合格100名超。私立の受験では共通テスト利用が増加。
- ・東北大12名、東大3名、京大3名合格など難関大学への合格。
- ・私立大学の合格数は減少傾向（全国的な傾向）。
- ・現高校3年生の希望調査 国公立大学志望者が多い。
- ・スタディーサポート等で生徒の課題を把握し、学校の学習指導の中で志望実現に向けた支援を行っていききたい。

(3) 生徒指導・生徒支援について

- ・生活指導について
交通安全に対する意識を高めるために、講話を実施したり街頭指導を行ったりしている。
SNS等でのトラブルを予防するため、性被害防止講演会を開催。
いじめアンケートを年間2回行い、不安を持つ生徒に対応できるようにしている。
- ・生徒支援について
学校に来ることが難しい生徒や悩みを抱える生徒が増えつつある。個別の支援会議や合同会議をもって生徒の状況の把握や改善に努めている。
- ・不登校生徒へ向けてのオンライン授業の実施を行っている。実施については課題が多いが、より良い方法を模索中。
- ・SC、SSWに支援をしてもらっている。

(4) 生徒会について

- ・天候に恵まれ鳩祭を行えた。4067名来場、大筋は前年に倣いながら、新企画として同窓会による「卒業生と語る会」、本校卒業生で宝塚出身の「朱紫令真氏と語る会」、一般公開前に学級展を生徒が回るプレ鳩祭が行われた。
- ・個人の文化、芸術的な発表の場を一般公開中に設けるという意見を受け、今年度は個人の作品として生け花を展示することができた。

(5) SSHについて

- ・継続23年目。昨年度から先導的改革型Ⅱ期。国の委託事業としては最後の3年間となる。屋代高校は他校の取組を先導する立場になる。
- ・令和6年度NSC課題研究研修会を開催し、県内校に加えて、他県3校4グループの参加を得て課題研究の発表会を行った。今年度は他県からの参加校を増やせるよう検討している。
- ・希望者が履修できる増加単位の運営方法の研究と改善を行っている。今年度は「SS探究フロンティア」を新設し、信州大学工学部「情報」担当の藤原教授の特別講義を実施している。
- ・令和7年生徒会において高校科学系クラブを「科学班」に統合した。3分野を設置することで科学への多様な興味を追究できる場としている。
- ・国際性の育成に向け、自身の研究内容を英語に翻訳し発表をしたり、外国の高校と連携したりしている。また、オーストラリアへの海外研修も継続中。
- ・国の指定が終わったあとも継続して事業を行えるように、広域連携等を考えながら事業の在り方を探っていく。

(6) 学校評価について

- ・教育目標（長期、令和7年）について観点を設け、評価していく。

5. 質疑及びご意見

- ・保護者から経済的な側面で悩みを示されたことはあるのか、進学に向けて修学支援の学校の取組はどのようなになっているのか。
→PTA 総会のあとに修学支援について紹介をしている。また、学年 PTA 等で奨学金係の職員より案内を行っている。
- ・SSH を継続性して行ってきたことで蓄積した知見がある。その財産を活かしていく方向を考えてほしい。国の予算に依存しない今後のあり方はどのような見通しになっているのか。OB や同窓会、企業から支援をもらって継続するなど、継続の方向を模索してほしい。
→探究活動は今後も継続していく。予算がつかないと行えない事業もあるので、残すべきものを見直すものを精査しながら予算獲得を目指していきたい。
- ・英語嫌いを減らす、なくす方法を考え、使える英語が身につくようにしてほしい。
→粘り強く学習に取り組めるよう指導していく。
→附属中学校での英検受検を全校で進めていく。
→英語の教材を中高で揃えていく。
- ・中学、高校ともに多くの行事が体験できるようになっており羨ましい。課題探究の学習が多くあり、進学のためだけでなく、生きていくうえで貴重な経験ができる授業で感心している。
- ・普通科保護者の SSH の認知が低いのではないかと。素晴らしいことをやっているのに広がってくると良い。
→発行している SSH 通信を保護者へも届くようにしていく。
- ・スタディサポートの結果について他校との比較はできないのか。
→模試とは異なり、スタディサポートは相対評価ではないため他校比較は行っていない。1年生のスタディサポートを受けて高校での学習の計画立案に役立てている。
- ・通学の様子を日々、目にしている。屋代高校前駅から学校へ向かう生徒の安全に対する意識が上がっているように感じる。また、車の通行を気遣う親切な姿が見られる。教師の日々の努力が実っているのではないかと。
- ・脇道から飛び出してくる自転車がたまに見受けられる。安全指導をお願いしたい。
→安全指導の場所を変更し指導していきたい
- ・SSH は屋代高校の武器だと感じている。文理の選択を見ても理系が多い。中学生が進路選択をする際に SSH だけでなく幅広い生徒に屋代高校の良さが伝わるように PR をお願いしたい。
→中学生には、本校の良さをバランスよく伝えていきたい。
- ・一貫生と選抜生が両方いることのよさや課題はどのようなものがあるのか。
→より広い興味関心や学力層に対しての授業が展開されている。生徒会では近年一貫生が生徒会長を務めているが、部活動や文化祭などでは幅広い経験を積んできた選抜生が引っ張る姿がある。様々な生徒がいること自体がメリット。一方で「一貫生だから」、「選抜生だから」とカテゴライズしてしまわないようにしていきたい。
- ・今年度、新たな取組が見られ素晴らしい。いろんな人、ものに関わりながら学べていて社会で役立つ力という観点でも素晴らしい取組だと感じる。
- ・3年生の授業を参観したが落ち着いている様子であった。また、1年生の英語では子どもたちが安心して対話をしている姿が見られた。安心、安定して学校に来ていることがよさであると授業を通して感じた。
- ・小学校6年生になぜ附属中学を受検したいのかと聞いたら「兄が楽しいと言っていたから」という児童がいた。生徒にとって魅力的な学校になっている。こういう校風をアピールしてほしい。
- ・鳩祭に久しぶりに参加し、コロナ前の様子に戻っていて、子どもたちが生き生きと活躍する様子を

見て嬉しく思った。

- ・少子化が進む中ではあるが屋代高校の魅力を発信して行ってほしい。
- ・昔と違い中学生が携帯を持つ時代、タブレットを利用することが当たり前の時代になった。ICT は便利なものなので有効利用ができるとよい。反面、危険な使い方になると大きなトラブルにつながりかねない。学校でも引き続き指導をお願いしたい。
- ・子どもが卒業し大学に進学してから奨学金について周りから聞く機会があった。在学中にも奨学金の情報を広く発信してほしい。

6. 諸連絡

次回予定：11 月下旬（中間評価を受けて）

7. 閉会